

# <真剣味> 89

2018. 9. 1

## 夏の思い出

例年夏になると墓参りのため家族で佐渡に渡っています。ただ今年は私の教え子の同窓会がお盆の時期にあるため、それもできませんでした。ただ、その予定が入った時点でお盆前の日程でさまざまな計画を立てましたが、台風の上陸がありそれも断念しました。でも私一人、日帰りで佐渡に渡りました。その際、今はない母校の中学校前を通った時、閉校記念碑に目がいき足が止まりました。そこには懐かしい中学校の校歌が刻まれていました。何となく歌詞を読んでいるうちに、いつの間にか歌っていました。周りに誰もいなかったので、久しぶりに声を出して歌いました。中学校卒業からすでに45年経っていてもその時代に歌い込んでいたので、メロディーがスーッと出てきました。その瞬間、身体が覚えていることの素晴らしさを感じ、また歌えたことに対しての喜びを感じることができました。歌えてよかったです。

『19名の3年生、お疲れ、ありがとうございました。』

8月4日(土)、5日(日)の絆甲子園(福島県)での試合を最後に新潟江南シニアでの試合は終了となりました。試合は2試合だけでしたが、うちら「らしい」試合を最後まで実践してくれました。対東京青山シニア17対4〇、対福島シニア2対5×

○成長率の高いチームでした。簡単に負けなくなってきた。

○リーダーを中心に練習・試合で元気よく、まとまりある取組ができるようになった。

○投手・野手・打者に関係なく課題を意識した練習等ができるようになり、多くの選手が成果を出した。

○試合ではウォーミングアップから集中して取り組み、特に初回での失点が少なくなった。

○失点されても、1イニングでの大量失点が少なくなった。

○相手に得点されても諦めることなく、簡単に終わらず粘れるようになった。

●守備位置のバランスがうまくいかず、外野手の中には出場数が少ない選手がいたことは私の反省です。

『フレッシュマン大会<8/14・15>・秋季大会終了<8/19>(1・2年生)』

今現在、投手陣の中には1試合を任せられるエースと言われる投手はまだいません。だから試合となると何人かで繋げていくしかなく、非常に難しい試合になります。そんな中でのフレッシュマン大会でした。初日、対新発田シニア5対4〇、対新潟シニア0対15×、2日目、対宮城シニア17対10〇、対柏崎シニア2対10×、その結果6位でした。

秋季大会は対長岡東シニア3対15×、の結果でした。

<反省>①上級生には率先して、元気と一生懸命を見せてもらいたい。

②投手は相手がファールしてしまうストレートとコントロールを磨いてもらいたい。

③打者には最低でも、野手の間を抜ける速い打球を打ってもらいたい。

『自分で決めたこと、必要なことはとにかく続ける。結果は出なくとも続ける選手。』

『頑張っていることで仲間から応援される選手。』になってもらいたい。

『サマースクール終了』

実施日は5回と少ないですが、夏休み以降の各チームの大会に参加した時に少しでもプラスになればという気持ちで実施させて頂いております。

今年は7月25日(水)から8月22日(水)週一回で計5回活動できました。ただ毎日異常な暑さでしたので、どれだけの6年生が集まってくれるか心配でした。でも様々な方のご協力により、7つのスポーツ少年団から最終的には23名の小学6年生が集まってくれました。ほっとすると同時に、さすがに自ら集まった選手ですから、とてもやる気を感じました。

内容としては大まかに投げる・捕る・打つ・走るですが、中でも〇走り方、リードからの盗塁、〇バッティング(チャンスでのケースバッティング)は他より少し時間をかけたように思います。私は有意義な5回の活動でした。みんなのこれからの活躍を楽しみにしております。